

第6回 画像センシングシンポジウム チュートリアル講演会

Tutorial Lectures

The 6th Symposium on Sensing via Image Information(SSII2000)

参加案内

<http://ssii.on.arena.ne.jp/>

期日 平成12年6月14日 (水)
場所 パシフィコ横浜 (会議センター301, 302号室)
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

好評をいただいているチュートリアル講演を本年も開催いたします。多様なニーズにお応えするため、今回も基礎コースと応用コースの2つのコースを設け、各分野における第一線の講師陣をお招きいたしました。多くの方に聞いて頂けるように、同一の内容の講演を午前と午後の2度行います。多数のご参加をお待ちしております。

申込方法、申込先、参加費、支払方法などはシンポジウム参加案内をご参照ください。チュートリアルの受付は定員に達し次第締め切らせていただきます。なお、チュートリアル講演のみの参加はご遠慮下さい。

プログラム

[基礎コース](301号室)

司会 斎藤英雄 (慶應義塾大学)
依田育士 (電子技術総合研究所)

講演(1) 午前の部(9:00~10:30) 午後の部(13:30~15:00)

齊藤 文彦 氏 (岐阜大学) … 「遺伝的アルゴリズムと画像処理技術」

概要：遺伝的アルゴリズム(GA)は、膨大な探索空間から実用解を効率的に求めたい場合に有効な手法であるが、骨組みが緩やかで適用の自由度が高い反面、実装方法がやや難しいことが問題となる。しかし、課題および染色体の表現法や適応度の評価関数に十分な注意を払えば、画像処理における諸問題を効率良く解くことが可能となる。GAの画像処理への適応例を示すとともに、これらの応用分野におけるGAの有効性について述べる。

講演(2) 午前の部(10:50~12:20) 午後の部(15:20~16:50)

加藤 邦人 氏 (岐阜大学) … 「Hough変換高性能化と画像処理」

概要：Hough変換はその大局性ゆえ、ノイズに強く、また隠蔽にも強いという優れた性質を持つ。そのため現在では図形形状抽出のみならず、多方面に応用されている。しかし、メモリコスト、計算コスト、精度などの問題など実用化に対しての課題も多い。そこで、まずHough変換の基本原理、ならびに実用化に向けて必要になるであろう周辺技術を紹介する。また、Hough変換の効率化、ならびに高精度化アルゴリズムについて紹介し、今後幅広く用いられるであろうHough変換の可能性について議論する。

[応用コース](302号室)

司会 金子正秀 (電気通信大学)
堀 修 ((株)東芝)

講演(1) 午前の部(9:00~10:30) 午後の部(13:30~15:00)

千葉 直樹 氏 (三洋電機(株)) … 「画像モザイク技術の応用」

